



りゅう きゅう だい がく

# 琉球大学 (沖縄県)



コースの特色: 日本文化全般と沖縄独特の地域文化について理解を深めることを目的とし、日本語の高度な運用力、正確な読解力と文章構成力の養成を行い、日本研究の手法や知識を身につける。沖縄で学ぶことで、「日本」全体を一つの文化圏ととらえる型にはまることなく、多角的な視点で日本をとらえる目を養うことができる

## ◇大学紹介

### ①大学の特色および概要

#### 1) 特色と歴史

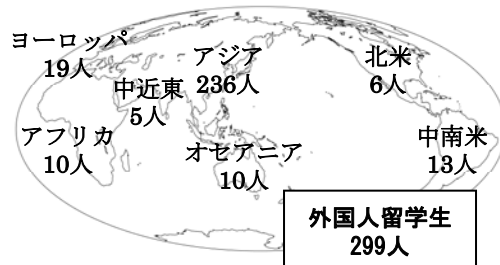
琉球大学は沖縄が米軍統治下にあった1950年に創設、1972年の日本への施政権返還に伴って国立大学となりました。現在、法文学部、観光産業科学部、教育学部、理学部、医学部、工学部、農学部、の7学部が設置されています。日本唯一の亜熱帯島嶼地域という特性を活かし、熱帯地域の海洋、島の自然と文化、方言等の研究・調査が盛んな大学です。

#### 2) 教員・学生数 (2008年5月現在)

- \* 教育研究職員数: 859人
- \* 学部学生数: 7190人
- \* 大学院生数: 945人

### ②国際交流の実績

#### I. 留学生数45ヶ国299名 (2008年5月1日 現在)



#### II. 日本語・日本文化研修留学生受入実績

25ヶ国56名 (1994~2008年)

- アメリカ5, インド1, ウクライナ4, エジプト1
- オーストラリア2, オーストラリア1, 韓国6, ギルジア1
- コロンビア1, スイス3, スロヴァキア1, スペイン1
- タイ9, チェコ1, 中国1, トルコ2, ハンガリー3
- フィリピン1, ブラジル1, フランス1, ベルギー1
- ベルギー2, ポーランド4, ラトヴィア1, ロシア2

### ③ 沖縄県の特色

琉球大学の所在地である沖縄県は、日本の南西、九州と台湾の間にあり、広い海に散らばった160の島々から成っています。昔、沖縄県は、琉球と呼ばれた1つの国でした。首里城を王国の中心とした琉球は、中国や日本、アジアの国々にさかんに出かけに行き、外国と貿易を行いました。この時代は「大交易時代」と呼ばれ、琉球は、「レキオ」という名前で、ポルトガルの資料にも記録されています。明治時代になると450年間続いた琉球王国は、日本の県の1つ、沖縄県となりました。このように、他の都道府県とは異なる文化・習慣が根付いており、また、豊かで独特の環境が生み出した美しい自然が数多く残っており、これらを生かした観光産業が盛んなところ。また、国内有数の長寿地域としても知られ、その食生活等も注目を浴びています。

沖縄本島の西海岸には、海水浴をはじめ、マリンスポーツ、ビーチパーティなど多彩なレジャーを満喫できる大型のリゾートホテルが立ち並び、美しい珊瑚礁に彩られた海を身近に楽しめる魅力的な観光リゾート地へと発展しつつあります。



沖縄は物価が安くて、住みやすいところですよ!

## ◇コースの概要

本コースは、日本の社会や文化全般と沖縄独特の地域の社会や文化について理解を深めることを目的とし、研究に必要な日本語の高度な運用力、正確な読解力と文章構成力の養成を行います。また、日本の社会や文化の研究の手法や知識を身につけることができます。

主な専門科目として、言語学、日本語教育、日本語学、方言学(琉球方言)、日本文化、琉球文学、歴史学(日本史・琉球史)、文化人類学、民俗学など、様々な分野の科目が受講可能であり、これらは日本人学生と交流しながら学ぶことができます。

コース終了までに、興味を持った事柄についてテーマを決め、研究を行い、その成果を口頭発表し、日本人学生と討論する場が設けられています。さらにその成果を研究レポートにまとめ、『研究レポート集』として冊子の形にして発行しているため、留学で得たことを学内外の方々にも広く知ってもらえるようになっています。

①受入留学生定員 12名

②コースの実施期間

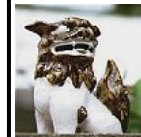
2009年10月1日~2010年9月30日

(後学期 2009年10月1日~2010年3月31日)

前学期 2010年4月1日~2010年9月30日)

☆参考: 過去の日研生の研究テーマ

- △新たな視点から見る沖縄の米軍基地問題
- △多良間島の古謡
- △なるほど・ザ・ウチナーヤマトウグチ
- △沖縄で見つけたロシア
- △日本人は言いたいことをはっきり言わない?
- △靖国・天皇・沖縄
- △日本語のあいづち
- △コンビニと若者
- △シーサーの七不思議



☞研究発表の動画が視聴できます。

[http://jp.youtube.com/view\\_play\\_list?p=AD83C84B41758643](http://jp.youtube.com/view_play_list?p=AD83C84B41758643)

③ コース形態

本学では法文学部に日本語・国際事情履修コースがおかれ、外国人留学生を対象に日本語および日本文化・琉球文化の専門的な科目を開講しております。本プログラムの学生は主にそうした学部留学生を対象とした授業科目を受講することになっています。また、日本語力の向上が必要な学生は共通教育科目「日本語・日本事情」の授業を選択します。さらに希望があれば、他学部で開講される一般学生向けの授業についても受講・聴講可能です。

こうしたコース形態は、他のプログラムの留学生と交流をしながら学べ、日本のみならず外国文化との相違や類似点を感じることができる国際性豊かな学習環境だと言えます。

④ 授業科目の概要

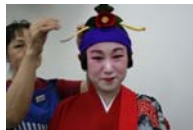
授業は原則として、前期・後期各15週開講されます。1コマは90分。

1) 必須科目

授業科目名	内 容	コマ ( /W)
基礎演習 I・II	図書館の利用法、資料の検索方法を学び、研究レポートを作成する。また研究発表のプレゼンテーション技能の養成を行う。	1
日本文化 I・II	沖縄の歴史が育んで来た文化にはどのようなものがあるか、というところに焦点を当て、教員が一方的に講義するのではなく、受講生が自発的に調べたりして学ぶことを目標とする。	1
日本語文章表現 (1セメスターのみ)	文章構成、パラグラフ分析、要約文、レポートの書き方など高度な作文力の養成をし、さらに資料を提示しながら行う発表の仕方を学ぶ。	1

2) 選択必須科目 (各学期2科目は履修しなければなりません)

授業科目名	内 容	コマ ( /W)
日本語演習 I・II	実際の日本語の現象を注意深く観察し、日本語学の基礎知識の習得を目指す。	1
琉球文化特別研究 I・II	琉球舞踊や琉球方言など、代表的な沖縄文化の講義と体験をとおして沖縄とは、沖縄人とは、沖縄文化とは何かを考える。	1
日本語作品講読 I・II	代表的な現代文学作品(詩・短歌・俳句・小説等)を鑑賞し、日本文化一般について学ぶ。	1
二言語対照研究	日本語と他の言語とを比較し、言語の類型や普遍性を考える。	1
国際事情 I・II	外国との関係における日本を現代史的に考察する。	1



3) 見学

沖縄本島内への研修旅行や社会見学の機会を提供しています。さらに、伝統文化理解するため、組踊の鑑賞会に出かけたり、和室で茶道を体験したりもしています。体験学習として、華道、紅型、ムーチー作りなども行っています。希望すれば地域の家庭にホームステイしたりホームビジットしたりする機会もあります。日本人学生との交流会にも参加できます。

主な見学先:  
首里城 & 玉陵  
アプチラガマ (戦跡)  
平和祈念公園 & 資料館  
琉球新報社  
沖縄県警察本部  
牧志公設市場  
埋蔵文化財センター  
沖縄テレビ放送  
浦添城趾



牧志公設市場

4) 選択科目 (一般学生用ですが、受講可能です)

授業科目名	内 容	コマ ( /W)
琉球語入門 I・II	琉球語は、どんな言語なのか、発音、文法などについての基礎的なことを学びつつ、多様な表現を身につける。	1
三線と島唄	三線に関する基礎知識を学び、沖縄民謡の実技を行う。	1
琉球アジア研究入門	沖縄の歴史、民俗・風俗、祭祀、芸能について、各分野の専門家が数名交代で授業を行う。	1
沖縄の政治と社会	沖縄における政治と社会の役割について考察する。	1
沖縄の基地と戦跡 I・II	沖縄の戦争体験、戦後の歴史や現状を踏まえながら、アジアおよび世界の平和について考える。	1

注: 選択科目は上記以外にもあります。

日本語

【授業科目及び授業時間数】 (1コマは90分)

授 業 科 目		コ マ 数			
		後 期	前 期	計	
日 本 語 教 育 プ ロ グ ラ ム	日 本 語 III・IV	聴解・語彙	30	30	60
		読解・文法	30	30	60
		作文・発表	30	30	60
	沖 縄 事 情 I・II	沖 縄 の 社 会 と 文 化	15	15	30
	日 本 事 情 I・II	日 本 の 社 会 と 文 化	15	15	30

**⑤ 指導体制**

- 1) プログラム実施委員  
 I. 責任教員, (専攻), E-mail  
 金城 尚美 留学生センター 教授  
 (日本語教育・教育学) [knao@ll.u-ryukyu.ac.jp](mailto:knao@ll.u-ryukyu.ac.jp)
- 副島 健作 留学生センター 講師  
 (日本語教育) [kensaku@lab.u-ryukyu.ac.jp](mailto:kensaku@lab.u-ryukyu.ac.jp)
- 金城 克哉 法文学部 准教授  
 (言語学・日本語教育) [kinkats@ll.u-ryukyu.ac.jp](mailto:kinkats@ll.u-ryukyu.ac.jp)

2) 指導体制  
 研修生には上記指導教員がつき、学業、生活両面にわたって必要に応じて個別に指導にあたります。  
 また、上記以外に留学生センターと法文学部の適切な専門分野の教員にも研究指導にかんして協力をお願いしています。



キャンパス内



2007-2008年度 日研生

**⑥ 行事等**

- 10月 首里城 & 玉陵見学
- 11月 沖縄地域留学生交流推進協議会懇談会  
組踊鑑賞会, 生け花体験
- 12月 新聞社見学
- 1月 書道体験, 泡盛工場見学
- 2月 学内日本語弁論大会
- 3月 茶道体験
- 4月 研究レポート中間発表会
- 5月 テレビ局見学
- 6月 平和学習  
戦跡および平和祈念公園見学
- 7月 留学生祭り  
日本語劇発表
- 8月 研究レポート修了発表会  
修了式
- 9月 水族館見学



三線 (さんしん)



日本語劇



生け花



- ⑦ コースの修了要件, 修了証書の発行**  
 所定の課程 (年間540時間以上) の研修を終え、研究レポートを提出し、指導教員がその成果を認めた留学生については、修了式にて本学学長の名において修了証書を授与しています
- ⑧ 単位認定, 単位互換等**  
 単位の認定については、留学生が在籍する本国の大学の判断によります。単位認定に必要な場合、研修期間内に履修した科目については、履修内容等を記した文書を出すことができます。
- ⑨ 受講希望者の資格および条件**  
 日本国以外の大学の学部(主に3年次以上)にいる者。また日本語・日本文化に関する分野を主専攻にしている者として。日本語力は日本語能力検定試験2級以上の能力があることとします。

**◇ 宿 舎**

日研生はキャンパス内にある学生寮 (日本人学生と共用) に入寮するのが普通です。室内にはベッド, 机, 椅子, ロッカーがあります。共同設備として、シャワー室, 洗濯室, ラウンジ, 売店, 自動販売機があります。



・過去3年間の日研生の宿舎入居状況 (各年度10月現在)

	国際交流会館	学生寮	アパート等	合計
2005年度	0名	5名	0名	5名
2006年度	0名	5名	1名	6名
2007年度	1名	2名	2名	5名

**◇ 問い合わせ先**

琉球大学学術国際部留学生課  
 住所: 903-0213  
 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地  
 TEL: 098-895-8103  
 FAX: 098-895-8102  
 E-mail: [ryrys@to.jim.u-ryukyu.ac.jp](mailto:ryrys@to.jim.u-ryukyu.ac.jp)



大学のホームページアドレス :  
<http://www.u-ryukyu.ac.jp>  
 留学生センターのホームページアドレス :  
<http://www.cc.u-ryukyu.ac.jp/~inssc>